契約 第1庁舎防水・塗装工事、ごみ収集車購入など契約締結へ

契約の締結・変更6件は、すべて全会一致で原案通り可決しました。

■物品購入契約の締結

ごみ収集車1台の更新を極東開発工業㈱近畿営業部（西宮市）と795万円で、老朽化した全小学校教育用パソコンなどの更新を㈱二チワ（神戸市）と2726万円で契約を行うものです。

■工事契約の締結

雨漏り、庁舎改修計画による第1庁舎防水・塗装工事は、㈱進藤組（たつの市）と4545万円で契約を行うもので、工期は来年3月29日まで。

町道浜幹線道路新設工事は、山下建設（高砂市）と4847万円で契約を行うもので、播磨南中学校西の約236mと、浜幹線と交差する町道古宮川端線の延長約130mを併せた道路改良を行います。工期は来年3月末までの予定です。

■工事契約の変更

契約している2小学校体育館の大規模改造工事で、蓮池小840万円、播磨南小114万円をそれぞれ増額するもの。蓮池小は卓球場や舞台天井壁の補修など、播磨南小はバスケットボールゴールの落下防止・昇降装置の設置などを行います。

人事 教育委員、固定資産評価審査委員決まる

教育委員会委員に櫻井啓子氏（大中）、横田一氏（加古川市）の2人を任命することに同意しました。櫻井氏は再任、横田氏は新任。任期は4年。

固定資産評価審査委員会委員には、大辻要二氏（南大中）、森田孝氏（南野添）、王子収氏（東本荘）の3人を選任することに同意しました。大辻氏と森田氏は再任、王子氏は新任。任期は3年。

議案の審議結果【平成24年9月定例会】

賛否の分かれた議案

（○…賛成、×…反対、欠…欠席）

		議案名	賛成	反対	議決結果	議決日	1 松岡 光子	2 田中 久子	3 宮宅 良	4 山本 雅之	5 神吉 史久	6 奥田 俊則	7 大辻 裕彦	8 岡田千賀子	9 藤原 秀策	10 藤田 博	11 河野 照代	12 福原 隆泰	13 木村 晴恵	14 宮尾 尚子
町長提出議案	条例	播磨町長寿祝金条例の一部改正（修正案）	8	4	可決	9/21	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	−	○	○	×	×
		播磨町特別長寿祝金条例の一部改正	10	2	可決	9/21	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○
		播磨町心身障害者福祉年金条例の一部改正	8	4	可決	9/21	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	−	○	○	×	×
	予算	平成24年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	10	2	可決	9/4	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○
	決算	平成23年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	10	2	認定	9/21	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○
		平成23年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	10	2	認定	9/21	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○

※ 播磨町議会の現議員数は14人です。採決は、全議員の過半数（7人）以上の出席を要し、議長を除く出席議員の過半数の賛成をもって可決されます。ただし、法律に別の定めがある特別多数議決の場合は、この過半数議決は適用されません。

※ 議長は採決に加わりませんので、「−」で表示しています（議長＝議席10番 藤田博。議長不在などの場合には副議長が議長を務めます）。ただし、賛成と反対が同数の場合には、議長が決します。

全員賛成で可決・認定・同意した議案

		議案名	議決日
町長提出議案	条例	播磨町における暴力団の排除の推進に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	9/4
		播磨町長寿祝金条例の一部改正（修正部分を除く原案）	9/21
	予算	平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）▶平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）▶平成24年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）▶平成24年度水道事業会計補正予算（第1号）	9/4
		平成24年度一般会計補正予算（第3号）	9/12

		議案名	議決日
町長提出議案	決算	平成23年度一般会計歳入歳出決算認定 ▶平成23年度財産区特別会計歳入歳出決算認定 ▶平成23年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 ▶平成23年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定 ▶平成23年度水道事業会計収支決算認定	9/21
	その他	固定資産評価審査委員会委員の選任同意3件 ▶教育委員会委員の任命同意2件 ▶物品購入契約締結2件（塵芥収集車購入、小学校教育用パソコン等購入） ▶工事請負契約締結（町道浜幹線道路新設（その3）工事） ▶工事請負契約変更2件（蓮池小学校・播磨南小学校屋内運動場大規模改造工事）	9/4
		工事請負契約締結（第1庁舎防水・塗装工事）	9/12

町政 ここを問う

9月11、12日の両日、10人の議員が一般質問を行い、町政全般にわたり町当局の考えをただしました。

一般質問

Q いじめのない学校を

日本共産党 代表質問
田中 久子

教育長 **A 命と人権を守る教育を充実**

▲子どもたちが大切にされ、いじめのない学校

問 大津市をはじめ、いじめを苦に自殺する生徒が増えている。子どもの命が大切にされる学校や地域社会が必要である。町内の小・中学校でいじめの発生は。

答 平成21年度に2件、22年度に1件の報告があった。現在、報告はない。いじめが起こらないように対策を継続している。

問 過去に起きたいじめの対応は。

答 事実確認し、相手を思いやる指導を根気強く実施した。

問 いじめについてのアンケート調査は。

答 毎年11月に実施。今年は9月に臨時に行い、「いじめ相談の窓口」の一覧表を全児童生徒に配布している。

問 いじめを人権問題とした予防教育を。

答 暴力を許さず、命や人権を守る教育の充実に努めている。

Q 水田川の洪水対策を

木村理事 **A 引き続き県に要望する**

問 水田川水害対策の中で上流部の工事予定は。

答 約72メートルの護岸工事を実施し、阿閉橋（あへ）から水田橋上流まで220mの完成を目指す。

問 過去の風水害の被害状況は。

答 本年7月に10戸、昨年9月の台風では古田地区に床上・床下37戸の浸水被害。平成16年にも大きな被害が発生している。

問 住民の安心・安全のため、早急に対策を。

答 地元と協議し、県には要望済み。

Q 循環型社会の構築を

日本共産党
松岡 光子

枡田理事 **A 原則は再使用・再生使用**

問 プラスチック類を可燃ごみとともに焼却することを先に決めるのでなく、10年先に向けてごみ分別に努力してこそ資源化・ごみ減量を促進し、循環型社会が構築できる。

答 循環型社会基本法では再使用・再生使用が優先するが、プラスチック類は再生樹脂化、燃料化に、処理費用が高くつくことなどから焼却し、熱エネルギーを回収し利用を図ることとしている。

問 施設規模を抑えることが建設・保守費用を抑えることになるのでは。

答 言われる通り、ごみ減量を推進し、1日1人当たりのごみ量を742gにする。規模は日量430tの計画。施設建設前に再度見直しを行う。

問 近隣市町を参考にごみ減量に向けて、雑がみ回収の検討をしては。

答 実態では紙類の「その他」の項目で、一部は収集できている。生ごみの中に紙類の割合が多い。分かりやすい印刷物を全戸配布し、啓発する。

▲混ぜれば「ごみ」・分ければ「資源」（京都市）

Q 現在の職員数で大丈夫か

三村理事 **A 厳しい状況もあり得る**

問 条例で職員定数222人とあるが、現在は172人。約50人減少している。この職員数で、安心・安全と、住民サービスが提供できるのか。

答 行政改革を進めスリム化した。庁内LAN導入や臨時・非常勤職員の活用により適正化を推進する。今後、県より事務委譲されると厳しい状況になると考えられる。